

2025学年度

事業報告書

学校法人 京都国際学園
京 都 国 際 中 学 校
京 都 国 際 高 等 学 校

〒605-0978

京都府京都市東山区今熊野本多山町1番地

TEL(075)525-3535
FAX(075)525-3563

<http://kyoto-kokusai.ed.jp>

kkg.info@kyoto-kokusai.ed.jp

学校法人 京都国際学園

2025学年度 事業報告書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

I. 法人の概要

1. 設立趣意書

21世紀は高度な技術情報化社会といわれる。瞬時にして国境を超え地球の裏側にまで伝達される情報は、閉鎖的な旧来の国家観を打破し、社会の変革と一層の他との共生を促す原動力となった。

このようなIT革命による高度情報化社会は、地球規模的に物質的繁栄をもたらすだけでなく、一方で、人間は生まれながら平等であるが故に、国や民族の違いを超えて他と共に生きなければならないことの大切さを教えてくれる。そして互いに人間として尊重しあい、協力しながら共に手を携えて、差別のない住み良い地域社会の構築が求められている。

人間の尊厳さを大切に考える人は、正しく他に対して思いやる、人権を重んじることにほかならない。そして同時に自己を知り、それを価値あるものとして誇りとする人は、自己と同じく他も価値ある存在として認め、それを理解し、尊重し、共に生きていくことのできる豊かな国際性を持つ人である。

今日まで、本学園は、在日韓国人子弟への民族教育を通して社会に貢献できる人材の育成を図ってきたが、このような社会にあつては、人権尊重と共生社会の実現を担う豊かな国際性を持った人材育成を教育的理想として発展的に再構成し、「人間の尊厳性」と「豊かな国際性」を教育の根本とした学校法人京都国際学園として設立するものである。

よって、本学園は、国籍の如何を問わず、次代を担う中学生・高校生を対象に帰国子女をはじめ、留学生、定住もしくは長期在留外国人子女をも受け入れる国際性豊かな学園づくりに取り組み、異文化の理解と尊重及び国際的視野と教養を身に付けることによって、「人間の尊厳」を学び取る場としながら、「国際化」を目指す日本の社会と国家、ひいては国際社会の共存共栄と人類文化発展のための貢献者たらしめようとするものである。

ここに本学園は上記の教育目的を達成するために、2004年4月開校し、京都国際中学校及び京都国際高等学校を設置するものである。

2. 沿革

1947. 5.13 京都朝鮮中学 開校
1951.12.19 財団法人東邦学院 設立、校名 東邦学院中学に変更
1958. 4. 4 学校法人京都韓国学園 設立、校名 京都韓国中学に変更
1963. 4.16 京都韓国中学 高等科 設置
1984. 8.12 本多山新校舎 竣工
1997. 5.11 開校50周年 記念式 举行
2001. 3.31 第1寄宿舍 竣工
2003.12.12 京都府知事 京都国際中学校・京都国際高等学校 認可
2004. 4. 1 京都国際中学校・京都国際高等学校 開校
2005. 7.14 第2寄宿舍 竣工
2006. 9.28 第2運動場造成(テニスコート完成)
2015. 1.30 野球部雨天練習場 完成
2017. 5.13 開校70周年 記念式 举行
2021. 1.29 第93回 選抜高等学校野球大会 初出場決定
2021. 7.28 第103回 全国高校野球選手権大会 初出場決定
選手権大会 全国 ベスト4
2022. 4. 3 新校舎 竣工
2022. 7. 27 第104回 全国高校野球選手権大会 2年連続出場決定
2024. 1.26 第96回 選抜高等学校野球大会 2回目 出場決定
2024. 8.23 第106回 全国高校野球選手権大会 優勝
2025. 8 第107回 全国高校野球選手権大会 ベスト8
2026. 3 韓国政府の支援金により、大規模寄宿舍改修工事
トレーニングルーム増設工事竣工

3. 設置する学校及び入学定員数・学生生徒数

学 校 名	入学定員	在籍生徒	(2025年5月1日現在)
京 都 国 際 中 学 校	120	29	
京 都 国 際 高 等 学 校	120	136	
合 計	240	165	

4. 教職員の概要(2025年5月1日現在)

学 校 名	教員			職員		
	本務	兼務	計	本務	兼務	計
京 都 国 際 中 学 校	9	6	15	3	1	4
京 都 国 際 高 等 学 校	17	5	22	6	5	11
合 計	26	11	37	9	6	15

5. 役員の概要(2026年3月31日現在)

定 員： 理事 7名以上10名以内(現 7名)

監事 2名以上3名以内(現 2名)

理事長 金 政 弘	副理事長 許民九
理 事 黄 正 安	理 事 名 塩 匡
理 事 毛利豊和	理 事 白 承 桓
理 事 姜 亮 銀	
監 事 李 鐘 和	監 事 皇 甫 榮

6. 評議員の概要(2026年3月31日現在)

定 員： 8名以上12名以内(現 10名)

岡田孝雄 黄利行 李隆男 金永哲 洪明雄
金 龍 周 金貴志 金正和 崔芳子 金二美代

Ⅱ. 事業の概要

1. 本校 教育目標

(1) 自分を大事にする人(自尊)

自らの根本を認識し、自己の存在に誇りを持つ人

(2) 絶え間なく努力する人(練磨)

自ら可能性を切り開くために、自己練磨に勤しむ人

(3) 共に生きる人(共生)

国際人として人権を尊び、異文化を正しく理解し、共に生きる人

2. 努力重点

韓国系の国際学校として「人間の尊厳性」と「豊かな国際性」を教育の根本とし、21世紀に活躍する国際人の育成を目指します。

また、韓国語・韓国地理歴史・在日韓国人史を学ぶと共に、修学旅行は韓国へ行き、民俗伝統行事などを通じて、韓国の文化や異文化を知ることによって豊かな国際感覚を養います。

(1) 民族文化の暢達

① 韓国語学習の強化

- ・韓国語能力試験受験義務化
- ・学校生活用語の韓国語化
- ・韓国短期語学研修の実施
- ・韓国語暗唱大会実施
- ・生徒の学習進度に合わせた習熟度別授業の展開
- ・中高共に韓国への修学旅行

② 伝統文化の定着

- ・名節、慶祝行事を通じて伝統精神の継承
- ・韓国伝統文化を中心として体験学習
- ・基礎的 民族文化の理解

- ③ 他文化共生教育
・地域貢献講座として韓国語4講座開設

(2) 進路保障の充実

- ① 分かりやすい授業の展開
・授業技術研究、教材開発
・学期末補習、進学合宿の実施
- ② 中高学力不振者への対応
定期考査及び各種校内試験の事前補習及び事後補習実施
(放課後及び学期末調整期間等)
- ③ 適性啓発
・各種 検定資格 取得(韓国語・英語・日本語・漢字・情報検定)
・各種外部模試受験
- ④ 中学校の進学指導
・進学補習、期末補習、補充授業等実施
今年度は 内部進学 6名 外部 公私立 4名 合格
- ⑤ 高等学校の進学指導
・放課後補習、補充授業等随時実施
・夏休み、冬休み等の進学補習
今年度は 私大 23名 韓国大学 3名
専修・各種学校 6名合格 プロ野球 1名 入団

(3) 事業の概要

- 当年度に行った主な事業(総額 212,903,900円)
- ・トレーニングルーム増設工事(2025年3月下旬～2025年11月竣工)
(127,788,900円)
 - ・体育館空調機器設置工事(2025年6月設置) (35,200,000円)
 - ・寄宿舍空調機器取り替え及び内装改修工事(2026年3月完了)
(24,200,000円)
 - ・寄宿舍風呂場、各部屋改修工事(2026年3月完了) (25,135,000円)